



クローバー

山形市立第十小学校 学校だより 令和8年1月20日

それぞれの目標を胸に、新しい一年のスタート！2026 🐎

1月7日、転入生1名を迎え、始業式を行いました。厳しい寒さの朝でしたが、子どもたちが元気な顔で学校に戻ってきてくれたことを、心からうれしく思いました。校舎に子どもたちの声が戻り、学校に再び温かな空気が広がりました。始業式では、2年生のSFさんが、「特に苦手なかけ算の6・7・8の段と、苦手な文章を書くことを頑張りたいです。今日の発表も、苦手なことへの挑戦です」と、少し緊張しながらもしっかりと前を向いて、堂々と発表しました。また、4年生のAWさんは、「人をまとめることを頑張りたいです。特に、相手のことを考えて行動したいです。縦割り班で一緒に5年生のKFさんがしているように、下級生に合わせてゆっくり歩くなど、優しく接したいです」と、自分の目標をしっかりと言葉にして伝えました。体育館のステージに立って話をするのは、大人でも緊張するものです。頭が真っ白になってしまうこともあります。ステージに上がる前、緊張でいっぱいだったSFさんに、「緊張してる？」と、そっと優しく声をかけているAWさんの姿がありました。自分の目標を堂々と発表することができたSFさんの姿、そして、自分の目標を早速行動にうつし、下級生に優しく接していたAWさんの姿、さらに、2人の発表を優しいまなざしで一生懸命に聴いていた全校児童の姿に、子どもたちの成長を感じ、胸が温かくなりました。



新しい1年が始まりました。今のこの気持ちを大切にしながら、一步一步成長して行ってほしいと願っています。特に6年生にとっては、小学校生活も残りわずかです。一日一日を大切に、この十小の仲間とともに、心に残る思い出をたくさんつくり、胸を張って卒業の日を迎えてほしいと願っています。

一人一人が輝く『かくれ自慢』！ ～情報発信委員会企画～



情報発信委員会の活動の一つに、「かくれ自慢」を全校児童に紹介する企画があります。あらかじめ動画に収録した子どもたちの様子を、給食の時間に少しずつ放映しています。ピアノやフルートなどの楽器演奏を披露する子、リズムカルにダンスをする子、イラストや編み物、手品などを紹介する子、空手の型を披露する子など、その内容は実にさまざまです。中には、おなかを驚くほどへこませたり、動物の鳴きまねをしたり、ルービックキューブを瞬時に6面そろえたりする子もあり、どの発表も個性豊かで、つい見入ってしまいます。子どもたち一人一人の多彩な特技に驚かされる

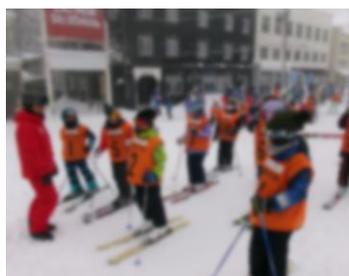
るとともに、全校児童の前で発表しようとするその勇氣にも、感心させられます。

近年は、動画を作成したり、その中で自分を表現したりすることに対して、以前ほどの抵抗感がなくなってきたように感じます。これからも、子どもたちが自分の持つ力を存分に発揮できるよう、学校として見守り、支援していきたいと思ひます。

雪国ならではの学びです！～スキー教室&雪上教室～

山形ならではの学習の一つに、スキー学習があります。子どもたちは、このスキー学習をととても楽しみにしています。3・4年生はスキー場に出かけてのスキー教室、1・2年生は少年自然の家での雪上教室を行います。クリスマス前までは全く雪がなく、今年はスキー教室が実施できるか心配しましたが、今はその心配もなくなりました。3・4年生は、待ちに待ったスキー教室を存分に楽しんできた様子でした。月末には、1・2年生が少年自然の家に出かけ、雪遊びを楽しんでくる予定です。友だちと一緒に、雪国ならではの魅力を全身で味わってほしいと願っています。

子どもたちがスキー学習を楽しみにしている気持ちは、教室の中でも感じられます。授業中に私が見た一つのエピソードをご紹介します。授業になかなか集中できず、学習に取り掛かれずにいたAさんに、同じグループの友だちが声をかけていました。「Aさん、今、教室にいるって思わずに、リフトに乗っているって想像してみて！ そしたら、きっと頑張れるよ！」——なんて素敵な声かけでしょう。その後、Aさんは気持ちを切り替え、しっかりと学習に集中して取り組んでいました。子どもたちは、それほどまでにスキー教室を心待ちにしているのだと感じました。



地域の方も子どもたちの成長を見守ってくださっています

年に2回、交通指導員の皆様にお越しいただき、子どもたちの登校の様子について情報交換会を行っています。この会で子どもたちの歩き方や行動の様子を確認し、危険な歩き方や心配な行動があれば、すぐに子どもたちに指導するようにしています。

また、各町内から民生児童委員の皆様や主任児童委員の方々にもお越しいただき、子どもたちの登下校や地域での様子について情報交換会を行っています。民生児童委員、主任児童委員の方々には、毎年、一斉下校の日に子どもたちの下校の様子を見守っていただいております。

今年度も、年末に上記2つの会議が行われ、その中で、うれしいお話をたくさんいただきました。その中から一部をご紹介します。

- ・子どもたちと一緒に歩き、普段はできないいろいろな話ができうれしかった。
- ・下校指導後、散歩をしていると自分の方から声をかけてくれる子が増え、うれしく思っている。
- ・登校時に挨拶をしてくれる子が増えて、とてもうれしい。
- ・挨拶をしっかりと返してくれる。
- ・3年生の子どもたちと総合の学習で公園に花を植えた際、すばらしい質問が出た。1年生の公園探検でも、子どもたちが探究心をもって学習していることがわかった。
- ・3年生と昔遊び交流をしたところ、顔を覚えてもらい声をかけてもらえるようになった。こちらの方が楽しい気持ちをいただいたと感じている。
- ・散歩中にお年寄りが転んでしまったとき、十小の児童が助けてくれた。
- ・授業参観で子どもたちが生き生きと学んでいる姿を見て、とてもうれしかった。

いつも子どもたちを応援して下さる地域の皆様にご覧いただき、さらに成長の様子を教えていただけることは、私どもにとっても大きな喜びです。今後も、地域の皆様には、子どもたちの成長をともに見守っていただけますと幸いです。